

アセアン工学系高等教育ネットワーク (AUN/SEED-Net)
サンドイッチ博士プログラムについて
【2018 年度版】

アセアン工学系高等教育ネットワーク (AUN/SEED-Net) は、ASEAN10 カ国の AUN/SEED-Net メンバー大学 (26 大学) 及び日本の AUN/SEED-Net 支援大学 (14 大学)¹によって構成される工学系のネットワークです。AUN/SEED-Net は、東南アジア域内の社会の発展のために、主として教員の研究・教育能力を高めることにより、加盟大学の研究・教育能力の向上支援を目指しています。実際の活動では、大学院レベルの学位取得プログラムや各種共同研究プログラムのほか、産業界との連携促進活動、加盟大学間の人的・学術的交流の促進 (ネットワークの構築・強化) 等の取り組みを行っています。

サンドイッチ博士プログラムは、メンバー大学の若手教員・若手教員候補者に、ASEAN のメンバー大学における 3 年間の博士課程での修学の機会を提供するもので、3 年間の課程のうち、一部期間 (最長 8 か月) を、本邦支援大学の共同指導員の先生の研究室にて研究指導を受けることができる仕組みとなっています。博士課程修了後は、出身大学に戻り教員として勤務し、自大学及び自国、さらには地域の発展に貢献することが期待されています。

本プログラムの応募ガイドライン (英文) は以下 AUN/SEED-Net ホームページよりご確認いただけます。

http://seed-net.org/wp-content/uploads/2016/08/Implementation-Guideline-and-Application-Form_PhD-Sandwich-2018.pdf

AUN/SEED-Net のサンドイッチ博士プログラムでは、AUN/SEED-Net の支援する工学系 10 分野にて留学生の受入を行う「ホスト大学」が指定されており、学生は、同ホスト大学の博士課程に入学します。工学系 10 分野及びホスト大学の一覧は以下のとおりです。

分野名	ホスト大学
化学工学	デラサール大学、ガジヤマダ大学、マラヤ大学、タマサート大学
土木工学	チュラロンコン大学、タマサート大学、マラヤ大学、マレーシア工科大学

¹ 日本の支援大学一覧は AUN/SEED-Net ホームページに掲載
<http://seed-net.org/about-us/member-universities/>

情報工学	モンクット王工科大学ラカバン校、ガジャマダ大学、バンドン工科大学、マレーシア・プトラ大学
電気電子工学	チュラロンコン大学、マラヤ大学、フィリピン大学ディリマン校、スラバヤ工科大学
地質・資源工学	ガジャマダ大学、チュラロンコン大学、マレーシア科学大学
材料工学	マレーシア科学大学、ガジャマダ大学、マラヤ大学、カセサート大学
機械・製造工学	バンドン工科大学、マラヤ大学、デラサール大学、マレーシア・プトラ大学、スラバヤ工科大学
エネルギー工学	バンドン工科大学、マレーシア科学大学、モンクット王工科大学ラカバン校、フィリピン大学ディリマン校
環境工学	フィリピン大学ディリマン校、チュラロンコン大学、バンドン工科大学、カセサート大学
自然災害	ガジャマダ大学、バンドン工科大学、チュラロンコン大学、マレーシア工科大学

サンドイッチ博士プログラムは、ASEAN のホスト大学の教員（指導教員）、日本の支援大学の教員（共同指導教員）の共同指導のもと実施されます。3年間で全ての卒業要件を満たすため、学生、指導教員、共同指導教員の皆様には、学生受け入れ（入学）段階での研究計画の策定やその進捗の確認、本邦滞在中の研究・指導内容、論文執筆等に関する密なコミュニケーションを取ることをお願いしております。

なお、学生はホスト大学の正規博士課程に入学することから、卒業要件はホスト大学の指定するものに沿い、博士号もホスト大学より授与されます。

サンドイッチ博士プログラムの3年間の在学中、学生には、日本の共同指導教員を訪問し研究指導を受ける「本邦短期研修・研究（Short-Term Study in Japan, SSJP）」（最長8か月）の機会が提供されます。8か月の研修・研究の期間は、「1か月」と「1か月以上7か月未満」の2回に分けて実施することも可能です。

本邦短期訪問の主な実施方法は以下のとおりです。

(1) 本邦短期研修・研究（長期）：SSJP-Long

1か月以上7か月未満もしくは8か月の本邦渡航。JICAの「国別研修」の制度に則り実施され、訪問にかかる手配（大学への受入依頼、VISA・宿泊手配等）は、学生及びJICAにより実施されます。

(2) 本邦短期研修・研究（短期）：SSJP-Short

1か月の本邦渡航。出張ベースで実施され、訪問にかかる手配は、学生及びAUN/SEED-Net事務局により実施されます。VISA及び宿舎手配について、日本の共同指導教員のご支援を

お願いしています。学生は、海外の日本大使館で、短期渡航のための VISA を申請、取得するため、受け入れ大学に書類をご準備いただきます（招へい上、身元保証書、日程表など）。

上記（1）の本邦短期研修・研究（長期）SSJP-Long の渡航については JICA の研修制度を活用して実施しており、渡航実施が予定される年度から数え、その前年度 10 月末までに、渡航予定期間と受け入れ先を事務局に通知する必要があります。

なお、奨学生本人が国内支援大学に対して渡航・受け入れの可否を打診するのではなく、ASEAN 側ホスト大学の指導教官が、国内支援大学の受け入れ教官に連絡を取り、当該奨学生の研究能力や語学能力につき情報交換を行った上で、渡航予定期間と研究内容についておおよその日程を固めていただくことになっています。本邦に渡航を希望する奨学生は、ASEAN の各大学の内規により本邦渡航の許可が事前に必要となる場合もありますのでご注意ください（例、インドネシアのガジャマダ大学）。

当プログラムの奨学生は、ホスト大学に入学次第、本邦渡航の日程等につき指導教官に相談を行うことが必要となっており、事務局からもそのように指導を行っています。

万が一、事務局に所定の申請フォームが提出されない場合、JICA の研修員枠と予算管理の観点から渡航は不可能となりますため、国内支援大学におかれましても、この点につきましてご注意をいただきたくお願い申し上げます。

サンドイッチ博士プログラムの学生に対しては、ASEAN のホスト大学在学に必要な生活費、学費、航空券等が AUN/SEED-Net 事務局より支援されます。本邦短期研修・研究（長期）期間中は、JICA より受入大学への研修委託経費²、学生の日本での滞在費、本邦への往復航空券等が支給されます。

本邦短期研修・研究（短期）SSJP-Short の場合、事務局から学生に本邦への往復航空券、宿泊代（USD80／1 泊）を直接学生に支給しますが、奨学金との重複を避けるため日当の支給はありません。日本滞在中の保険は、JICA 本部を通じて加入します。

また、サンドイッチ博士プログラムの学生のホスト大学での研究支援を目的に、ホスト大学の指導教員及び学生に対し、2018 年 4 月現在、最大 2,250 ドル/年の研究資金（Collaborative Research Program）が支援されます。同研究費は、研究のための渡航（域外渡航、国内渡航）、少額機材や消耗品の購入等に使用することが可能です。

本邦短期研修・研究の期間中は、共同指導教員の下での研究に集中してもらうため、原則として本邦外への渡航（域外渡航・研修）は認めておりませんが、以下の場合のみ認められます。詳細及び申請方法等については、国内センターの JICA 担当者にご確認ください。

² 1 ヶ月以上の長期受入の場合。委託経費の金額は各大学との合意に基づき決定されます。

- (1) 一時出国の理由は、博士号取得に必須となる学会への参加に限り認める。その他、域外でのフィールド調査や関係機関との意見交換等は認めない。
- (2) 渡航に必要な旅費は当該学生本人が負担する（研修実施機関による支援を妨げるものではありません）。また、学生への離日中の本邦滞在費は支給されず、大学の寮に入寮している場合は離日分の滞在費を日割りした金額を JICA に返金頂きます。
- (3) 本邦での研修・研究期間が 3 か月以上の学生についてのみ申請を可能とする。一時出国の期間は本邦出発日から本邦帰国日を含み 7 日間以内とする。

当プログラムの実施につきまして、何かご不明な点がありましたら、貴学との連絡窓口になっております JICA 国内機関あるいはシードネット事務局までお問い合わせ願います。

(担当 高島 : takashima@aun-seed.net)

以上